

役員・会員・寄付者一覧

■役員

| | | |
|------|--------|----------------------|
| 理事長 | 中村 順子 | |
| 副理事長 | 星野 裕志 | 九州大学大学院経済学研究院 教授 |
| | 佐藤 友美子 | 学校法人追手門学院 理事 |
| 理事 | 尾花 弘教 | 株式会社ウェルアップ代表取締役 |
| | 小室 邦夫 | ヒューマンスキル研究所 主宰 |
| | 當間 克雄 | 兵庫県立大学大学院経営研究科 教授 |
| | 飛田 敦子 | コミュニティ・サポートセンター神戸 |
| 監事 | 奥村 一人 | コンサルティングオフィスK 代表 |
| | 井上 隆文 | 神戸ステージサービス(株)代表取締役社長 |

■会員一覧(順不同・敬称略) ※2021年4月～2022年3月

正会員(20名) 足立 勝/岡本 仁宏/佐藤 友美子/小室 邦夫/坂本 登/中村 順子/立田 英雄/當間 克雄
川島 龍一/長谷川 京子/飛田 敦子/藤原 和男/星野 裕志/松下 忠義/朴木 佳緒留/青山 ゆみこ/池田 拓也
尾花 弘教/奥村 一人/井上 隆文

賛助会員・個人(84名) 桑山 信子/上野 恭男/直田 春夫/津田 久雄/落合 弘/松元 隆平/細見 典子
上 義弘/新福 たか子/尼川 洋子/與口 修/森 功/栗野 真造/古結 洋子/森田 正純/藤本 傑士
林 祐介/植戸 貴子/伊谷 須美子/向山 良子/瀬戸口 延恵/藤本 隆/林 律子/新庄 達也
井上 雅晴/広井 かほる/大久保 和雄/尾山 宗久/遠田 豊成/川島 悦子/稲田 薫
高橋 度/泉 勇策/日下 恵子/井上 怜/菅 祥明/吉本 隆光/小林 義徳/大野 利恵
平田 富士男/井筒 眞弓/西田 幸夫/岡部 記代子/保元 温/高橋 貴之/端 信行
四宮 一夫/朝山 日出夫/梶原 靖子/山内 延浩/大谷 敏行/浜田 宏樹/岡田 雅幸
増金 祐次/蒲田 尚史/宮下 隆二/小林 清隆/中村 保佑/守永 浩一/畑中 進
丸本 恭子/小見山 竹和/大和 三重/片岡 治/原 祥隆/大黒 洋一/宮崎 太喜夫
松嶋 剛史/長澤 マリ/朴 徹雄/子川 幹男/長田 幸一郎/加藤 正博/西池 陽一
大脇 和代/浅野 恭子/池田 康二/安元 邦夫/東郷 寛/大西 佐知子/松本 吉一
山本 好克/白井 一彦/大脇 和代

賛助会員・団体(19団体) 一般社団法人クルレ/NPO法人福祉ネットワーク西須磨だんらん
医療法人明倫会 宮地病院/NPO法人ジンジャークラブ/ヒューマンスキル研究所/NPO法人薫風
NPO法人ホザナ・ハウス/神戸いたやどばあちゃん/NPO法人やまびこヘルプ/エンゼルス/アテンドクルーなど
NPO会計支援センター/株式会社まんぼう/神戸西助け合ネットワーク/株式会社神戸サンソ
NPO法人インクルひろば/株式会社グリーンテクノス/株式会社ロック・フィールド/NPO法人ことばルームへようこそ

■寄付者一覧(順不同・敬称略)

企業・団体(8団体) 大和リース株式会社/有限会社 神輝興産/株式会社シカタ/商船港運株式会社
日本郵船株式会社/明治安田生命保険相互会社/NPO法人東灘地域助け合いネットワーク
株式会社さんふらわあマリンサービス

個人(21名) 高橋 貴之/小林 清隆/増金 祐次/瀬戸口 延恵/尾花 弘教/島田 誠/氏家 都子/蒲田 尚史
川島 悦子/佐藤 博史/栗野 真造/與口 修/清水 肇子/西池 陽一/姫野 操子/守永 浩一/中村 順子
飛田 敦子/小室 邦夫/山村 弘美/人羅 亜矢子

ご支援
ありがとう
ございました!

2021
ANNUAL REPORT

2021年度事業報告書

2021年4月～2022年3月

Challenge



認定NPO法人コミュニティ・サポートセンター神戸(CS神戸)

〒658-0058 神戸市東灘区住吉東町5-2-2 ビュータワー住吉館104

TEL.078-841-0310 FAX.078-841-0312

E-mail : office@cskobe.com URL : https://www.cskobe.com



2021年度を振り返って

2021年度もコロナ禍の影響を大きく受け、リアルな交流の場に制限がかかる状況ではありましたが、CS神戸が大切にしてきた「つながる」ことをあきらめず、中間支援組織の特性を活かした新たな取り組みにチャレンジした1年でした。

第1に“企業とつながる”チャレンジとして、「食べる健康プラットフォーム」では、これまで取り扱いが難しかった生鮮のフードロス食品を、5企業8事業所から供給を受け、こども食堂に届けるための仕組みを拡充しました。また、コロナ禍で困窮状態に陥った日本人学生や留学生に食材をマッチングする事業も新たに展開しました。

第2に“他の団体とつながる”チャレンジでは、「助け合いプラットフォーム」の構築として、東灘区社協に協力を仰ぎ区内11か所の地域包括支援センターへのヒアリングを行いました。地域ニーズをきちんと把握したことで、当該地区の住民に働きかけ、対応するグループ創出に向かう道筋が見えてきました。

第3に“新規団体へつなげる”チャレンジでは、2021年1月から検討・実施してきたこどもの居場所事業「こどもリビング」を、2022年3月にはCS神戸直轄事業から新規設立団体「あすパークこどもリビング」に事業移管し、自立運営につなげることができました。

また、これまでどおり市内6カ所の拠点でも、「情報提供・相談」から「活動者およびグループ創出」に至るそれぞれのフェーズを連携しながら担い、昨年度を上回る実績および成果で、多くの仲間を迎えることになりました。

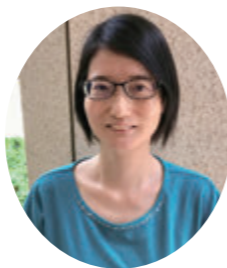
まだしばらく「ウィズコロナ」での日常が続きますが、この機会に様々な有り様や関係性をよくよく見直しながらも、ブレることなく「自立と共生」のミッションを軸に、皆さんとともに歩みを進めて参りたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。

2021年度の実績と成果

| | | |
|----|---------|-------|
| 実績 | 新規相談者数 | 968名 |
| | 講座数 | 267本 |
| | 受講人数 | 2168人 |
| 成果 | 立ち上げ団体数 | 63団体 |
| | 新規活動者数 | 670名 |



理事長 中村順子



事務局長 飛田敦子

ミッション 「自立と共生」を理念とした地域社会をめざし、自ら活動する人々を応援します。

何歳になっても地域で安心して暮らし続ける仕組みづくり

2021年度 Topics

1

助け合いプラットフォーム (公助日本生命財団「地域」社会福祉チャレンジ活動助成)

地域に一人暮らしの高齢者が増えている中、ニッセイ財団より助成を受け、何歳になっても地域で安心して暮らし続ける仕組み「助け合いプラットフォーム」づくり事業がスタートしました。対象エリアである神戸市東灘区・灘区において、どの高齢者も自宅から30分圏内に公助・共助のサービスにアクセスできることを目指し、市民のボランティアグループによる「共助」の仕組みを広げていく取り組みです。

2021年10月からの2年間に渡るプログラムの1年目に当たる2021年度は、東灘区をエリアに、一人暮らしの高齢者のニーズを把握することから始めました。東灘区内10か所の地域包括支援センター(あんしんすこやかセンター)へのヒアリング調査により、一人暮らしの高齢者が抱えるニーズが明らかになりました(図1参照)。東灘区を5つのブロックに分けて考えると、山手のA、C エリアは個人の生活を維持するための生活支援のニーズが大きく、海側のB、D エリアは住んでいる人同士がつながりをつくるニーズが大きくなりました。2022年度以降はこのニーズに対応する地域活動団体を立ち上げる人材養成講座からスタートする予定です。

この助け合いプラットフォーム事業のポイントは2点あります。1点目は地域ニーズに立ち返ることの重要性を再確認したことです。地域課題の解決をミッションとする



調査結果中間報告会

NPOがプロジェクトを行う時に、そもそも地域課題とは何か=地域にどのようなニーズがあるか、を把握することが第一ステップだと初心に帰ることができました。2点目は社会福祉協議会や地域包括支援センターなど他団体との協働による事業であることです。一人暮らしの高齢者が安心して暮らせる仕組みづくりという目的達成のためには、CS神戸が単独で事業をするよりも、公助を担う組織との協働が望ましいと考えます。本事業をきっかけに他組織との関係づくりも進めていきたいと思っています。

東灘区における一人暮らし高齢者のニーズ



2021

ANNUAL REPORT 2021年度事業報告書

| | |
|---------------------------------|--|
| ● 2021年度を振り返って…………… 2 | ● 生きがい活動ステーション/あすパーク …… 7 |
| ● Topics 1 助け合いプラットフォーム …… 3 | ● まちづくりスポット神戸/神戸市コミュニティ相談センター …… 8 |
| ● Topics 2 居場所立ち上げ・運営支援 …… 4 | ● 介護保険地域密着型サービス第三者評価事業 市民活動サポート基金/講師派遣&視察受入 …… 9 |
| ● Topics 3 こどもリビング …… 4 | ● 決算報告/ポートフォリオ …… 10 |
| ● Topics 4 食べる健康プラットフォーム事業 …… 5 | ● 2022年度に向けて/組織図/事業所マップ …… 11 |
| ● Topics 5 兵庫型シニアショートワーク事業 …… 5 | ● 役員・会員・寄付者一覧 …… 12 |
| ● ワラビー/JR住吉駅前駐輪場 …… 6 | |

居場所と役割のあるまちへ

居場所立ち上げ・運営支援 (近畿労働金庫/公財)さわやか福祉財団「地域助け合い基金」との協働)

2021年度 Topics 2

コロナ禍で孤独・孤立を深める人が増える中で、地域の居場所がつながりづくりのために重要な役割を果たしていることから、CS神戸では地域活動団体の中でも特に居場所の支援に力を入れています。2021年度は①居場所サミット in 神戸と②居場所調査研究会の2軸で居場所支援を進めました。

①居場所サミット in 神戸は今年で6回目を迎えました。1年に1回居場所運営者が集まり、互いに運営のヒントを得る恒例イベントになりつつあります。今年はコロナ禍で継続した居場所と残念ながら解散してしまった居場所の事例を分析することで、コロナ禍のような非常事態にも継続する居場所の条件を探りました。CS神戸のような中間支援組織の役割についても改めて考えるきっかけとなりました。

②居場所調査研究会は2017年より兵庫県立大学NPO研究連携センターと協働で、学術的な視点からの調査や提言により居場所運営者に資することを目的に実施しています。2021度はコロナ禍のような非常事態においても継続・発展する居場所の条件として、「エコシステム」という経営学の考え方をを用いて、他組織との有機的なつながりが多い居場所ほど非常時においても継続・発展するという結論が導き出されました。

2022年度はこの2軸をより運動させ、②居場所調査研究会での研究結果を①居場所サミット in 神戸のテーマにする予定です。これからも2軸を連携させることで学術的な研究成果を居場所運営者の皆さまに還元できるようにしていきたいと思ひます。



居場所サミット



居場所調査報告会

あすパークで自立した「こどもの居場所」
こどもリビング

「こどもリビング」は毎週火曜日に、あすパークで実施している放課後のこどもの居場所です。この事業は地域の中で子どもたちの育ちを支え、見守る場所として神戸市が設置を推進しており、2021年4月にCS神戸の主催事業としてスタートしました。

「自ら考える子どもを育てる」を目標に、宿題の見守り、もぐもぐタイム、公園での自由遊びなど、立地も生かした多彩なプログラムで実施し、子どもたちは毎週いきいきと過ごしています。生きがい活動ステーションなど、CS神戸のネットワークを通じて集まった11名のスタッフは、1年の間に子ども達への対応や運営について、ていねいに議論を重ね、スキルアップをしてきました。

さらに、引き続き神戸市からの補助金も得て財政基盤が整い、運営面も安定してきたため、2022年4月には任意

団体「あすパークこどもリビング」として自立して活動を開始しています。自立へのプロセス、他団体との連携、多世代交流など様々な点でモデル的な事業に成長しています。



2021年度 Topics 3

食でつながるコミュニティづくり

食べる健康プラットフォーム事業 (NPO法人全国こども食堂支援センターむすびえ「むすびえ・こども食堂基金」)

2021年度 Topics 4

※一部事業を除く

2021年度からスタートした当事業は、あすパークを拠点とした「東部」で食材配送ボランティア「つながる便」から始まりました。その後、まちづくりスポット神戸を拠点として「西部」にも事業を拡大し、全市的な取り組みとしてすすめてきました。

【東部】

こども食堂には消費期限が長い缶詰やレトルト食品は届けられるものの、消費期限が短い野菜や果物、乳製品以外の日配品は少ないという現状がありました。

そこで、主に小売事業の企業・団体から供給頂き、シニアの有償ボランティアがこども食堂へ配送する「つながる便」を始めました。行政による支援に加えて継続的に食材を提供することは、こども食堂運営者の大きな励みになり、地域の企業団体とボランティア活動の新たな基盤構築に繋がっています。

また、こども食堂運営者のための「食育セミナー」の開催、定期発行のニュースレターも継続させ、地域の繋がりづくりを促進しました。



こども食堂運営者のための献立&調理講座

【西部】

西部ではまちづくりスポット神戸を拠点にこども食堂の開拓・調査から始めました。その結果、西部では東部に比べてまだこども食堂の数が少ないことがわかりました。そこでこども食堂運営者養成講座を開催したところ、定員を超える申し込みがあり、こども食堂への関心の高さが伺えました。また、こども食堂運営者同士のネットワークづくりや利用者への情報提供として垂水区こどもの居場所(こども食堂と学習支援)MAPを作成しました。

まちづくりスポット神戸がある学園都市周辺には大学が多く、コロナ禍で生活が困窮している大学生・留学生を対象としたフードパントリーを実施しました。認定NPO法人フードバンク関西等から食材の提供を受けて、昨年11月から月1回開催し、毎回100人程度の学生が受け取りました。



フードパントリー

定年後のシニアの進路選択、地域再生の担い手に!

兵庫型シニアショートワーク事業 ((一財)兵庫県雇用開発協会委託事業)

2021年度 Topics 5

兵庫型シニアショートワーク事業は兵庫県雇用開発協会から委託を受けて2年目となりました。人生100年時代を迎える中、フルタイムではなく、自分の体力や都合に合わせた短時間のしごとを希望するシニアが増えています。本事業では企業に対して業務の細分化等の助言を行い、2021年度に73件(求人数118名)のシニア向けのショートワークの求人を出しました。

また「食べる健康プラットフォーム」「こどもリビング」等への立ち上げサポートを通じてシニアの雇われなやりのあるしごとの創り出しも行いました。

3月には、「企業が挑戦する70歳就業時代の新しい働き方」セミナーを神戸大学・大内伸哉教授を迎えて開催しました。今後も企業のシニア社員が退職後に地域活性化の担い手として活躍できるよう、企業内セミナーやインターンシップを通じて今後も啓発活動を行っていきます。



「企業が挑戦する70歳就業時代の新しい働き方」セミナー

“ハタラク”をつくる 生きがいしごとサポートセンター神戸東（ワラビー）（兵庫県補助事業） 神戸市 NPO 法人設立運営相談窓口（神戸市委託事業）

2021年度の生きがいしごとサポートセンター神戸（ワラビー）は、県内に6ヶ所あった生きがいしごとサポートセンターが4ヶ所に集約されたことで、CS神戸の管轄範囲が神戸東地域から神戸市全域へ拡大になったことと、全県展開事業が丹波地域から淡路島に変更になったことが大きな変化でした。

今まで本部のみで行ってきたお仕事説明会を西部地域にも展開し、北区や須磨区で実施しました。セミナー開催は昨年度新型コロナウイルス対応でWEB開催が多かったなか、2021年度は対面重視で行うことができ、「CB起業セミナー」「女性起業セミナー」「シニア起業セミナー」、「副業セミナー」、「CB副業・起業セミナーin淡路」などを開催しました。

淡路島に関しては初めての地域ということで、淡路市、洲本市、南あわじ市の市役所、商工会議所、淡路県民局、島内の企業などを訪問し連携先として関係を深めました。

神戸市NPO法人設立運営相談窓口業務では、相談件数は200件（対面80件、その他120件）でした。相談内容は設立・運営相談として多様な相談が寄せられました。一方で、解散の相談も散見され、神戸市内では解散が非常に多くあった（37団体）ことがわかりました。

セミナーは例年行っている「NPOの作り方講座」を2回開催したことに加え、「NPOの運営講座」を新たに実施し

ました。運営講座では、ミッション・ビジョンからの事業計画の立案の大切さや仲間づくり、ファンドレイジングの基本的な考え方を伝えました。



NPOつくり方講座



西部おしごと説明会

地域に愛される見守りステーション 神戸市立JR住吉駅前自転車駐車場（神戸市指定管理事業）

第5期の初年度となった2021年度は、提案スキル能力アップを進めるためITスキル、認知症サポーター等の計5回の自主研修を行い、さらにスタッフからの利用者サービス向上提案を25件得て、内19件を実施に移しました。

Wifi環境を整備してキャッシュレス導入の準備をおこない、定期申請のダウンロード拡大、WEBでの高齢者SOSネットワーク参加など、WEB・オンライン活用の便利なサービスを拡大しています。

「駅前見守りサイクルステーション」として、コロナで中断していた障がい者・駅前店舗・地域団体等と地域連携した「駅前クリーンアップキャンペーン」を20団体/店舗、36名参加で再開し、障がい者清掃ボランティアも継続した結果、累計参加者数は324名となりました。楽しく景観のよい駅前空間創出に向けて、駐輪場デザイン看板リニューアル計画も進めています。



駅前クリーンキャンペーン

「人」と「地域」の縁結び 生きがい活動ステーション（公助）神戸市民文化振興財団との協働

7周年を迎えた「生きがい活動ステーション」（以下、「生き活」）は、昨年に引き続き灘区文化センター休館に伴う休所や、来所者への声掛けを控えるなどコロナ禍の影響を強く受けました。

そんな中でも「災い転じて福となす」として新たな企画に取り組みました。この取り組みでは、声掛けができずボランティア紹介が難しい中で生まれた毎月1回の「ボランティア紹介サロン」や、しゃべらなくてもつながる仕組み「生き作文庫」、手紙を書いてつながる「お手紙クラブ」など、良い結果に結びついたものも生まれ、情報提供者は5,625人（昨年度比115%）、新規登録者268人（昨年度比110%）など、生き活に関わった人数は昨年度を上回りました。

他には、ひょうごボランティアプラザの助成を得て、兵庫県文化センターで元気シニアを対象とした連続講座「地域貢献ゼミナール」を初めて開講し、10名が受講しました。現在も受講生のサポートを継続しており、この講座から2グループが立ち上がる予定です。



お手紙クラブ



地域貢献ゼミナール

地域課題解決のためのトライアル拠点 地域共生拠点・あすパーク（自主事業／（一財）ハウジングアンドコミュニティ財団助成金を一部充当）

2周年を迎えたあすパークは、地域活動団体を創出するというミッションが少しずつ達成できた年となりました。あすパーク開設時に主催・協働事業としてCS神戸が運営を担っていたプログラムの多くが、団体が自立し見事後援事業となりました。これからも多くの地域活動団体が創出され、住んでいる人が安心できる地域になることを目指します。また、あすパークが地域の方々に気軽に立ち寄りいただける拠点になれるよう一層努めていきたいと思ひます。



食べ健セミナー 第3回 パッククッキング



芝生でマルシェ

| | 主催事業 (CS神戸が主体) | 協働事業 (CS神戸と団体の協働) | 後援事業 (団体が主体) |
|---------|-------------------|----------------------|-----------------|
| 2020年4月 | 3 | 8 | 6 |
| 2022年3月 | 4 | 3 | 15 |

商業施設で生まれる新しいコミュニティ まちづくりスポット神戸 (大和リース(株)との協働)

コロナ禍のなか、感染拡大防止に気を配りつつ活動を再開、継続させるための小さなきっかけ作りに注力しました。登録会員数は82団体と微増していますが、コロナ禍で活動ができず、高齢者の居場所づくりを中心とした団体の解散・退会が12団体ありました。一方で、新規登録となった15団体は子育て支援団体が主となっています。

地域との連携事業は、コロナ以前の大規模イベントの在り方を見直し、目的別(子育て支援、高齢者支援、こどもの育ち支援、防災、環境、学生支援)に分けて小規模イベントを増やしました。参加団体の数が絞られることで、団体間のコミュニケーションが取りやすく、イベント後にも団体同士でのコラボ企画が生まれる等の相乗効果もありました。

主催事業では、「食都神戸」実践モデル活動支援事業等の助成金をいただき、屋上コンテナで農家さんと野菜を育てる「キッチンガーデン」、商業施設内の廃材を楽しく活用しながら学ぶ「こどもエコクラブ」を実施することができました。

神戸市の委託事業である予約図書受取コーナーは利用人数や取り扱い冊数を軒並み伸ばしました。

予約図書受取コーナー併設の交流スペース・まちスparaばでは来館者もこの3年で10,020人→18,194人→23,328人と増えています。趣味や関心事をきっかけに仲間を作る「ミニミニサロン」、講座やイベントをやりたい方にトライアルの場を提供し伴走支援する「ちゃれんじラボ」等に取り組みました。



キッチンガーデン



ふれあい囲碁(まちスparaば)

『ご近所』をサポートします！

神戸市コミュニティ相談センター (神戸市委託事業/神戸市自治会連絡協議会との協働)

2021年度では、自治会でも役員会・総会など各種会議を開催できるようになり、清掃活動や見守りなどの日常的な活動が戻ってきました。

相談件数は激増した昨年度からさらに増加し、158件となりました。相談の傾向は例年通り「担い手問題」が最多でしたが、解散に関しては内容の深刻度が増しており、既に解散が決定した状況での相談が増えています。

一方で、新しい自治会の立ち上げや数十年前に作られた会則の見直しに加えて、自治会へのニーズを探るための住民アンケートをおこないたいといった前向きな相談もありました。

相談内容が「防災研修」「緑化事業」「外国人との共生」などテーマ性がある場合は、各種NPO団体とのマッチングが出来ました。これからも中間支援として自治会を多方面からサポートできる環境づくりを目指します。



二葉ふれまちでの防災ワークショップ

質の高い評価の継続

介護保険地域密着型サービス第三者評価事業 (自主事業)

CS神戸では兵庫県の認証を得て、2012年度からグループホーム等の第三者評価(外部評価)を行なっています。市民目線で利用者の立場に立ちながら、事業所職員を応援する姿勢での評価を行い、独自様式の報告書が好評を得ています。

2021年度から国の制度改定でグループホームの評価も「外部機関による評価でなく運営推進会議での評価でもよい」となりました。このため、評価の発注は激減す

るとみられましたが、多くの事業所が外部評価の客観性・専門性を重視したことから、むしろ前年度(21件)を上回る発注(28件)がありました。このことを踏まえ、2022年度も質の高い評価の継続に努めて参ります。



評価員研修会

地域活動を応援する草の根助成 市民活動サポート基金

コロナ禍でも工夫して活動を継続する居場所向けの緊急助成「乗り切ろうコロナ助成金」をすみやかに実施したほか、居場所を始めとする5団体に通常の助成を行いま

した。助成団体からは「助成金も嬉しいが、選考委員からのエールに背中を押された」という声が聞かれました。

※原資の多くは賛助会費から繰り入れています。

| 団体名 | 事業内容 | 活動エリア | 助成金額 |
|--------------|--------------------------------------|-------|-----------|
| 居場所(計17団体) | 乗り切ろうコロナ助成金(1団体20,000円) | 神戸市内 | 340,000 |
| ACP人生会議を考える会 | 自分らしい最期を迎えるため、市民サイドからACP(人生会議)の普及・啓発 | 神戸市内 | 80,000 |
| 六甲あすパークマルシェ | 手作り品を展示・販売することで地域社会とのつながりづくり | 灘区 | 120,000 |
| ぶらり火よう日 | 4団体による週替わりの居場所 | 灘区 | 140,000 |
| つながる居場所 | 居場所における高齢者向けオンラインサポート | 長田区 | 50,000 |
| NPO法人きょうどうのわ | 東灘区内で活動する居場所の交流会の実施 | 東灘区 | 100,000 |
| | | | 計 700,000 |

講師派遣 & 視察受入

講師派遣

| | |
|-----------|---|
| 行政・外郭団体 | 兵庫県復興支援課/摂津市/小野市/富田林福祉協議会/全国社会福祉協議会/伊丹市 |
| NPO・地域団体等 | シニアCITYカレッジ/認定NPO法人シニア自然大学校/NPO法人市民事務局かわにし NPO法人コムサロン21/公益財団法人さわやか福祉財団/公益社団法人日本看護協会 NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえ |
| 企業 | 株式会社iop年文化創造研究所 |
| 大学・教育機関 | 兵庫県立大学/兵庫県立大学大学院/神戸学院大学/甲南女子大学/立命館大学 兵庫県立第淡路景観学校/関西学院大学 |

計21団体・57回 他、委員会等への就任多数

視察受入

| | |
|---------|---|
| 行政・外郭団体 | NPOプララボ・災害プラットフォームおきなわ |
| 企業 | 東急不動産株式会社 |
| 大学・教育機関 | 瀬田地域包括支援センター・龍谷大学大学院/神戸学院大学現代社会学部現代社会学科 関西学院大学社会学部/兵庫県立大学大学院緑環境景観マネジメント研究科/神戸学院大学 追手門学院大学/神戸大学大学院科学技術イノベーション研究科 |

2021年度決算報告

※詳細版はCS神戸のHPに掲載しています

貸借対照表

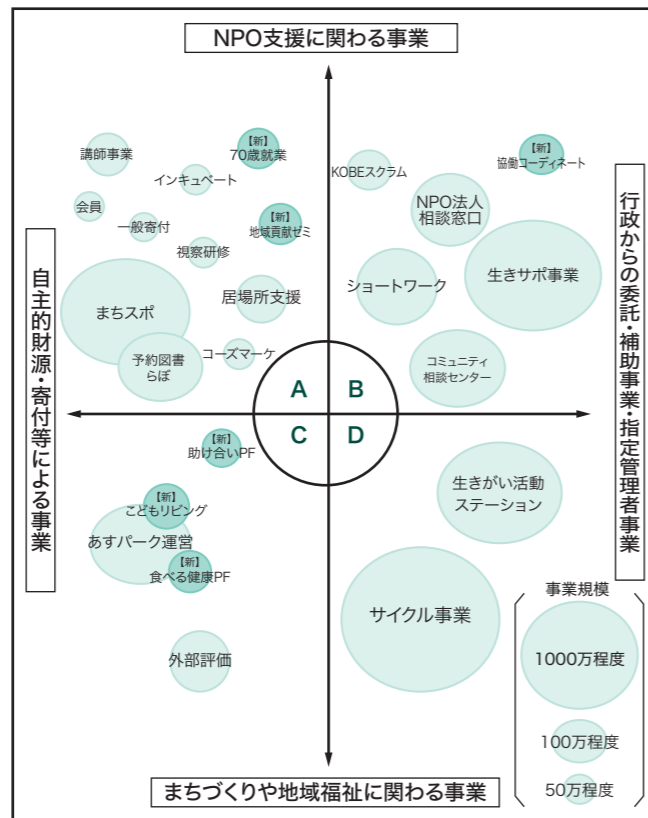
| 資産の部 | | 負債の部 | |
|-------------|------------|------------|------------|
| 1.流動資産 | 52,562,372 | 1.流動負債 | 10,805,633 |
| (1)現金・預金 | 46,197,607 | | 0 |
| (2)その他流動資産 | 6,364,765 | 負債合計 | 10,805,633 |
| 2.固定資産 | 40,357,231 | 正味財産の部 | |
| (1)有形固定資産 | 23,177,226 | 前期繰越正味財産 | 81,450,999 |
| (2)無形固定資産 | 275,960 | 当期正味財産増減 | 662,971 |
| (3)投資その他の資産 | 16,904,045 | 正味財産合計 | 82,113,970 |
| 資産合計 | 92,919,603 | 負債及び正味財産合計 | 92,919,603 |

活動計算書

| 科目 | 金額 | 科目 | 金額 |
|-----------|------------|-----------|------------|
| 1. 経常収益 | | II. 経常費用 | |
| 1. 受取会費 | 645,000 | 1. 事業費 | 62,772,305 |
| 2. 受取寄付金 | 11,688,769 | 2. 管理費 | 13,450,340 |
| 3. 受取助成金等 | 16,037,951 | 経常費用計 | 76,222,645 |
| 4. 事業収入 | 48,138,365 | 当期正味財産増減額 | 662,971 |
| 5. その他収益 | 375,531 | 前期繰越正味財産額 | 81,450,999 |
| 経常収益計 | 76,885,616 | 次期繰越正味財産額 | 82,113,970 |

2021年度ポートフォリオ

CS神戸における事業構成 2021年度決算
総額：7688万円

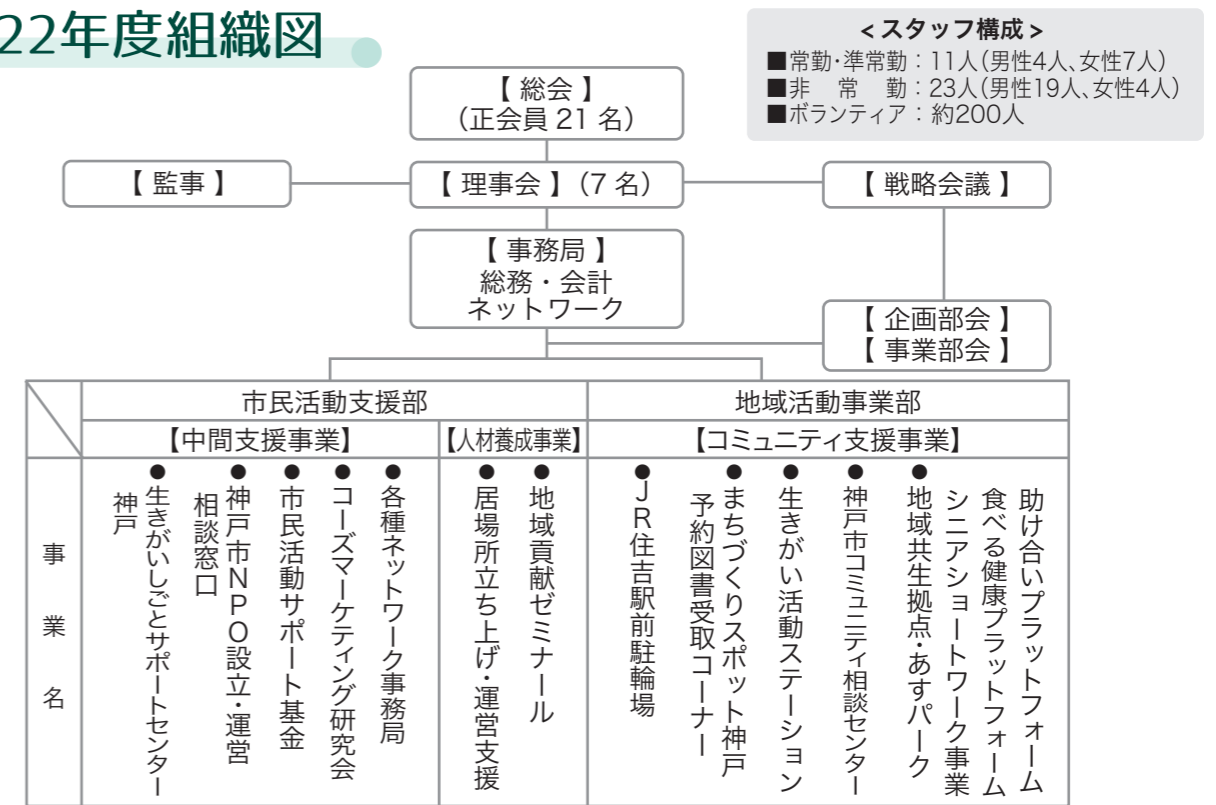


2022年度に向けて

コロナパンデミックを経て、私達を取り巻く環境は劇的に変化しています。この変化を受け止め更なる挑戦につなげるため、CS神戸は以下を重点目標とし、活動に取り組みます。

- **重点目標**
- 1. **人材育成について** 相談から活動者に至るプロセスを体系化し実効性を高めます。また、内部では伴走支援スキル研修を実施しスキルアップに努めます。
- 2. **事業について** ニーズの丁寧な聞き取りを基本として、必要な事業を自ら企画し、他機関との協働スタイルで解決に挑みます。
- 3. **財務について** 各事業部で新たな外部資金の獲得を目指すとともに、内部の給与やボランティア謝金の体系の見直しに取り組みます。
- 4. **組織運営について** 各事業部間の連携をより円滑にするために、オンライン合同朝礼を導入し、本部担当として戦略会議メンバーを事業部に配置します。

2022年度組織図



事業所マップ

